

瑞の御魂の世を救ふ

清き神慮を悟るべし

團扇片手に採り乍ら

膝をたゝいてバタ／＼と

巻の終りに喋舌り置く。

(大正一一、七、二〇、舊閏五、二六、松村眞澄録)

海洋萬里(丑の巻)終

大正十二年六月一日印刷
大正十二年六月十七日發行

不許
複製

海洋萬里丑の巻奥附

定價金壹圓五拾錢

編輯者 櫻井重雄
京都府何鹿郡綾部町字上池田二七番地

發行兼印刷者 近藤貞二
京都府何鹿郡綾部町大字神宮寺一番地ノ一

發行所 天聲社
京都府何鹿郡綾部町字本宮東四ツ辻十三番地

【振替大阪六〇五三四】

▽豫告

海洋萬里 (寅の巻) 六月廿五日 發売の豫定

海洋萬里 (卯の巻) 七月十五日 發売の豫定

海洋萬里 [寅の巻] 目次

頁

序文.....

凡例.....

総説.....

第一篇 聖地の秋 (一三八)

第一章 高姫館.....

第三章 清潔法.....

第三章 魚水心……………

第二篇 千差萬別 (一三九)

第四章 教主殿……………

第五章 玉調べ……………

第六章 玉亂……………

第七章 猫の戀……………

第三篇 神仙靈境 (一四〇)

第八章 琉と球……………

第九章 女神託宣……………

第一〇章 太平柿……………

第一一章 茶目式……………

第四篇 神龍昇天 (一四一)

第二章 湖上の怪物……………

第三章 龍の解脱……………

第四章 草枕……………

第五章 情意投合……………

第五篇 清泉靈沼 (一四二)

第六章 琉球の神……………

第七章 沼の女神……………

第八章 神格化……………

海洋萬里(寅の卷)目次終

申込所 丹波綾部町

天聲社

東京口麻大坂六〇ノ三三番

王仁文庫 (全十篇)

出口瑞月氏が神授の大經綸と天來の大抱負と、縦横の大神機と時に應じ機に臨みて、隨所に閃發せし文章詩歌其他二十有餘年間積んで山をなす。乃ちその中より、精粹を抜き、珠玉を選び、序を正し類を纂め、王仁文庫と題して茲に刊行の機運に向へるは誠に時代の急迫の然らしむる所にして、實に百萬讀者の渴望を醫する神液甘露たりと謂ふべし。

王仁文庫
第一篇

皇道我觀

定價 金五拾錢
郵稅 金貳錢

「皇道我觀」は皇道の眞髓を縱説横論し、世道人心の歸趨を指示せる大文字にして皇國の臣民たる者の必讀の名著たり。

王仁文庫

第二篇

國教論集

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

本篇には「國教樹立論」「信仰の墮落」「皇國傳來の神法」「太古の神の因縁」の四篇を収む。皇道の眞髓は一貫して漲り溢れ、國教は腐敗し信仰の墮落して其極に達したる混沌の現今を救ふは本篇に依らざるべからず、太古の神々の因縁は必ず見落す勿れ。

王仁文庫

第三篇

瑞能神歌

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

瑞の神歌は裏の神諭にして仁愛大神の人類に與へられたる神示なり、方舟なり、救世の綱なり、すみやかに起りつ、あり亦速やかに起るべき大地獄道の火焰をまぬがれんことをせば、本篇を見よ。叩かざれども開かれし救の門、求めざれ共仁慈の神は之れを與へられぬ。迷ふ勿れ!! 來れ!

王仁文庫

第四篇

記紀眞解

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

世に國學者を以て任ずる者徒に多しと雖も、眞の古事記を解する者一人として無し。日本書記を解する者亦あるなし、之れ其内義を理解する能力なき爲めなり、本篇は「古事記」の一節及び「日本書記」の一節を解釋し密義を發現されしものにして現代と併せ解釋され必ず何人も肯定する様平易に解かれしもの也

王仁文庫

第五篇

道の大原

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

三丹の巒峰を一陣に收め、保津の清流を双脚に踏みて、高倉山の山徑に宇宙の秘密と人生の幽旨とを問答せる顯幽の二大神人あり。一を本田親徳大人の幽姿となし、一を出口瑞月氏の顯體とす。而して其神言秘語を集拾類纂せられしものは本書也。

王仁文庫

第六篇

多満の礎

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

本書は教祖の表の神諭に對する出口瑞月氏の裏の神諭の一部分也。迷へる者、悩める者は本書によりて靈魂の糧を求めよ。

王仁文庫

第七篇

記紀眞釋

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

本書は古事記日本記の神代の卷を真釋して現代の危機を救済指導せんとするの大文字也。本邦千古の神文古典に含蓄せる豫言的價值を知らんと欲する者は、先づ一讀することを怠るべからず。

王仁文庫

第八篇

八面鉞

定價 金五拾錢

郵税 金貳錢

本書には「公認教と非公認教」以下都合八篇を收輯す。何れも出口瑞月氏が皇道と宗教の本義に就き縦説横論し、當局並びに世人の無智と偏見とを指摘し批判を加へて遺憾なからしめたり。

王仁文庫

第九篇

道の本

定價 金四拾錢

郵税 金貳錢

本書は表の神諭に對する裏の神諭なり。言々句々これ混亂的現代に於ける大救世主の救ひの聲にして天國に入るの關門なり。

王仁文庫

第十篇

五色草

定價 金四拾錢

郵税 金貳錢

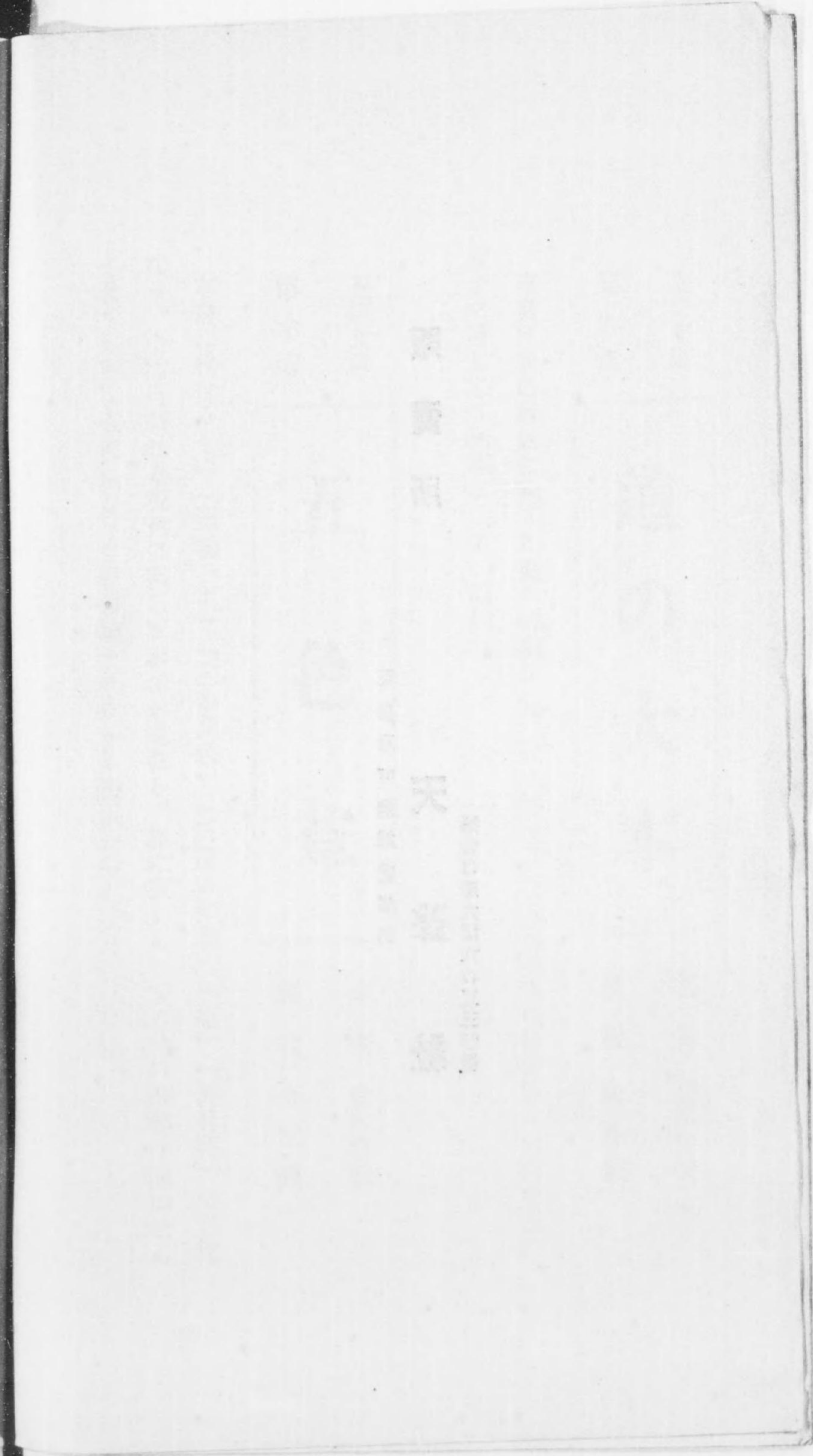
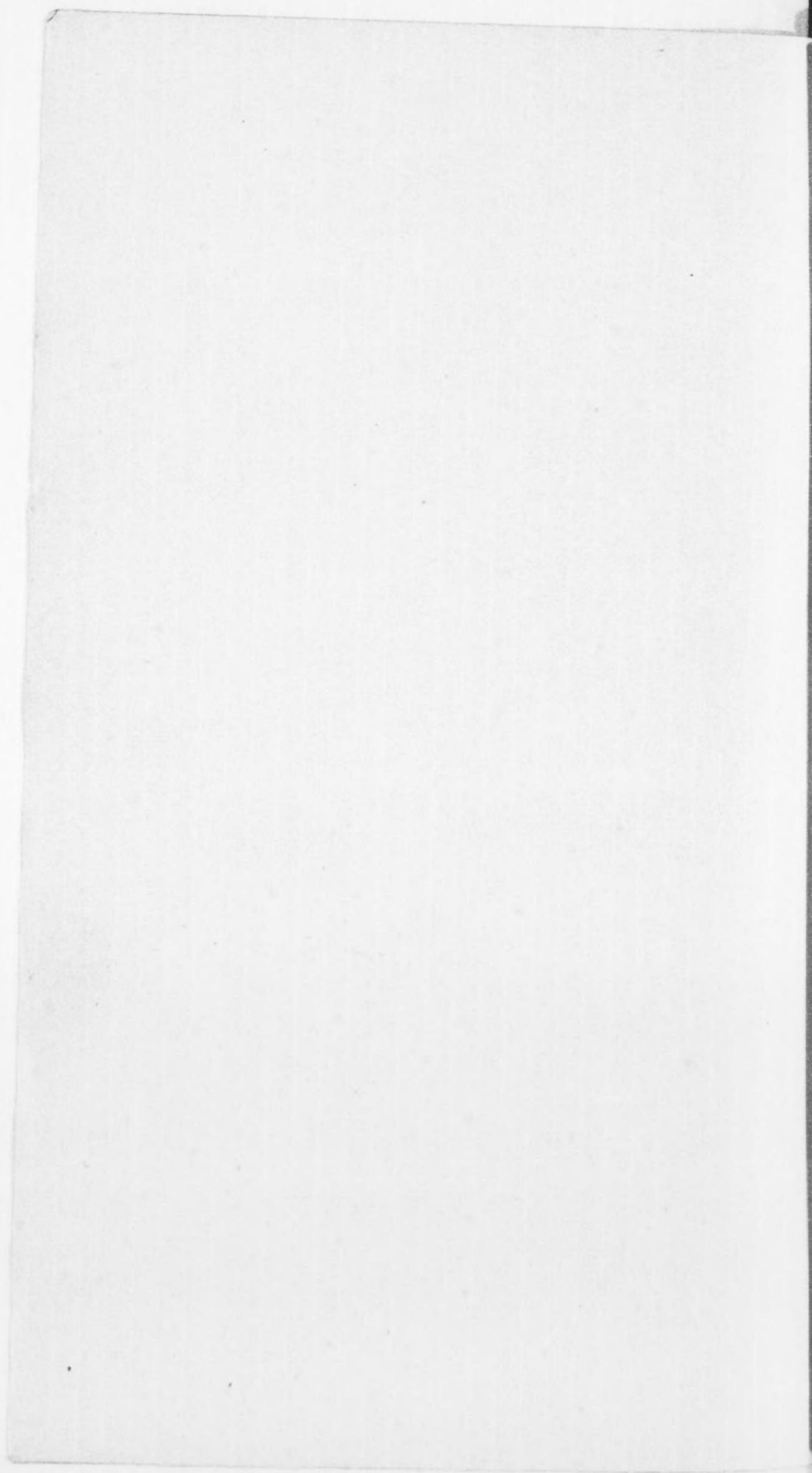
本書に收むるもの「彌勒の世」「◎の意義」「三種の神器」「道」「神祕詩」の五篇なり。全然行詰れる現代に處して未來を達觀し、將に來らんとする世の變動を前知せんと欲する者は本書によりて先づ幽玄微妙なる神慮を悟らざるべからず。

販賣所

京都府何鹿郡綾部町

天聲社

振替口座大阪六〇五三四番



290
342

終

